

こんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

宇佐美 さやか です



日本共産党神奈川区事務所
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：045-491-6843
FAX：045-491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp//>

市長公約の実現にむけて本腰を

あらき由美子団長が予算代表質問 公約実現の姿勢 しっかり示して

2月18日（金）、予算代表質問が行われ、日本共産党から あらき由美子党市議団長（南区選出）が登壇しました。

あらき団長は、市長が昨年9月の所信表明演説で公言した「3つのゼロ（小児医療費・出産費用・敬老パス）」と全員制の中学校給食に向けた予算が、今回明確に計上されなかった理由を問い、議会の多数会派に忖度するのではなく、公約実現に向けた思いをしっかりと市民に示すことが必要と主張しました。

その上で、市民参加・住民自治を確立するとした市長公約の具体案として、市長室を庁内板に表示すること、「市長への手紙」を導入することを求めました。そして5月以降に示される予定の中期4か年計画（2022年から2025年）に、市長選挙で掲げた目玉公約の「3つのゼロ」と、中学校給食の全員実施を明記し、市民と約束したことの実現に向けた姿勢をはっきり示すことを要望。計画案を示した際には18区に市長が出向いて、直接市民の意見を聞く機会を設けることなどを提案しました。

また、市長が示している歳出改革については、地方自治法の本質である「住民の福祉の向上を図る」ことを基本とした視点で取り組むよう要請。市長直属の「事業洗い出し」チームをつくり、大企業の利益のために多額の補助金を出し続けている市街地開発や、次世代への負担となる高速道路建設、新本牧ふ頭建設を見直すことの必要を訴えました。



質問する あらき由美子議員＝本会議場

「3つのゼロ」中学校給食 実現 目指すことは使命、…市長答弁

山中市長は、あらき議員の質問に対して、
○「公約で掲げた3つのゼロと中学校給食には市民の皆様の大きな期待が寄せられていると感じており、市民の皆様選ばれたものとして実現を目指すことは使命であると考えている。一方で、実現に向けては様々な課題があることも事実。そのためまず具体的にどのように進めていくべきか体制を整え検討をすることとした」と述べました。
○財源の捻出については、「公約を含む必要な施策の推進にあたっては、戦略的な政策展開による財源の確保や歳出ガバナンスの強化に取り組み、財源の確保に努めていく」と答弁しました。
○市民の声を聞く取り組みについては、「今後、デジタルプラットフォームなどデジタル技術を活用した新たな広聴の仕組みの検討を進めるとともに、私自身が現場に出向いて市民の皆様と直接対話するなどさまざまな機会を捉えて、市民の皆様の声聞いていく」と答弁しました。